

ボランティアレポート

千葉市史編さん担当では、平成 19 年より「市史協力員」の方々に古文書の整理などのボランティア活動をお願いしています。協力員の方々は、古文書整理作業をしながら独自に研究を行っており、今回その成果を限られたスペースではありますが、報告していただきました。

小山町有文書（千葉市緑区小山町）

旗本建部氏一給支配（支配領主が一人ということ）の小山村は、家数わずか 11 軒（江戸時代中期～幕末まで）の小村ですが、大量に史料が伝わっています。内容も豊富で、最も古い「元和四年水帳写」から明治 4 年の史料まで、近世から近代に至る史料群です。特に、小山村の御年貢皆済目録は、文化 14 年～慶応 4 年までの長期間にわたり残っていて非常に貴重です。

小山村の三大ネットワーク

江戸時代の村も、現在と同様に他村との関わりのなかで様々なことが進められていました。小山村が関わったものの中では、以下の三つの大きなグループ（村連合）が目できます。

- A. 旗本建部氏の知行所村連合
- B. 組合村の村連合
- C. 訴訟などでの村連合

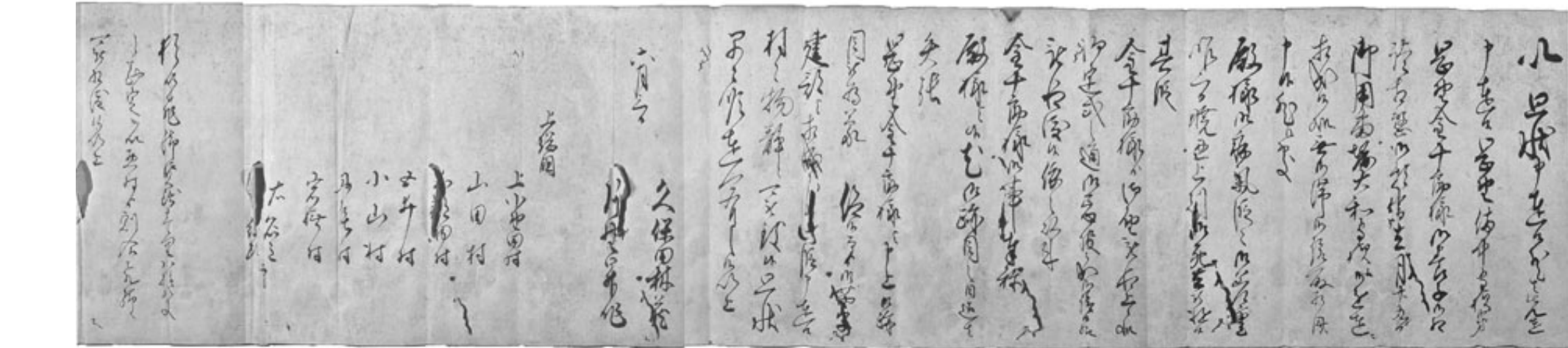
これらに関する史料をみていくなかで、各村々に伝達された廻状（触書や通知、手紙の請取など）の形式、知行所内（上総 7 か村内）での順達順（回覧の順序）もわかりました。（D）

A. 知行所村連合（知行所組合）

旗本建部氏の知行所村は小山、丹尾（上総国山辺郡）、上小野田、岩撫（以上上総国埴生郡）、五井（上総国長柄郡）、山田、外部田（以上上総国市原郡）の上総 7 か村と下総国香取郡金江津村、近江国蒲生郡西老蘇村の合せて 9 か村です。小山村では、「領主に関わる儀式、行事、冠婚葬祭など」「領主からの財政賄の要求」「文久期の異国船対策」などでこれらの知行所村と連合して対処しています。

B. 組合村（平時から非常時まで様々な村連合）

- 改革組合村土気町寄場組合 26 か村
小組合 5 か村、大組合寄場・親村 17 か村
- 五郷組合・鷹匠宿助郷・賄方 14 か村
- 土気町助郷組合 14 か村
- 寛政 7 年（1795）鹿狩触書 18 か村
嘉永 2 年（1849）鹿狩 62 か村



廻状の内容（差出人地頭所久保田林蔵・片野昇作）

（受取人上総国七ヶ村名主）

岡野金十郎様の養子願いは滞りなく請け取っていた。殿様が昨二日暁丑上刻に逝去された。金十郎様がお届け。御定式通り御忌役仰せつけられ、これからは金十郎様を御殿様と称する。↗

↗しかし、跡目を継いでから苗字は建部となるので申し伝える。村々、物静かに過ごすべく、廻状を早々に順達する。以上。なお飛脚賃銭一里八十八文は惣村より割り合い飛脚に渡すべし（近世状 459）

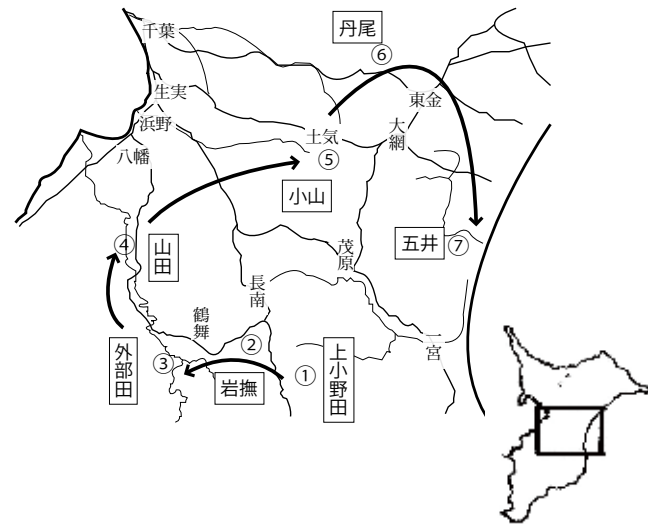
小山町有文書にみる 村のネットワークと廻状

C. 訴訟などでの村連合（主なもの）

- 慶応 3 年（1867）鹿子野開発 計 9 か村
 - 鷹匠宿負担割合出入 15 か村
 - 大椎村字弥三郎山境争論 12 か村
 - 土気町組合人馬助郷出入 15 か村
- 他に 2 ～ 6 か村の争論も多くあります（省略）。

D. 珍しい廻状の順達順がわかる文書（写真）

それでは、実際の廻状から小山村を含むネットワークをみてみましょう。この廻状は旗本建部氏の「殿様死去跡目相続」に関する廻状で、7 か村が書上げられています。おそらくこの村名の下に付けられていた下げ札が史料の下の写真です。ここには、各村々の受け取った日付、承知した旨と悔やみの言葉及び押印があり、建部氏の知行所のうち上総国にある 7 か村を順番に廻っている状況がよくわかります。6 月 3 日に作られた書状は、江戸から飛脚を使って上



総に届き、①上小野田から②岩撫③外部田④山田⑤小山⑥丹尾⑦五井へと廻されたのです。6 月 9 日の上小野田から 15 日の五井まで、各村で一日ずつ要しています。上の地図をみるとよくわかりますが、他の廻状でも山田→小山→丹尾の順の表現がよくみられることから、地理的にもこの順路が無理なく妥当と考えられます。



六月九日	奉拝見承知奉畏候以上	市左衛門 ㊤
六月十日	奉拝見承知奉畏候以上	岩撫村名主和吉 ㊤
六月十一日	奉拝見承知奉畏候以上	辰五郎 ㊤
御廻状之趣六月十二日拝見仕御養子御整候	儀恐悦二奉存且亦御殿様御卒去之段ハ奉	驚入候
御廻状之趣承知奉畏候	山田村	名主次郎右衛門 ㊤
御廻状之趣承知奉畏候	小山村	名主 弥惣次 ㊤
御廻状之趣拝見承知奉畏候以上	丹尾村	名主善兵衛 ㊤
御廻状之趣拝見奉畏候	五井村	名主代 新左衛門 ㊤
六月十五日		

さて廻状の順達方法ですが、飛脚に払われる賃銭は一里につき 88 文、これを全ての村で割り合って飛脚に渡しています。また遅くなった時、飛脚を民家に泊めることもあったようです（近世状 525）。廻状・書状は、包紙や封筒状のものに入ったものまで様々みられます。（近世状 491・481・508・547・557 等）
*文中の番号は小山町有文書の整理番号です。